

# 札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人  
札幌市障がい者スポーツ協会  
発行人 浅香博文  
札幌市西区二十四軒2条6目  
電話 011-612-1184  
FAX 011-641-8966

## すずらんピック2017開催



【大会期間】5月14日～6月4日(各日曜日)

【実施競技】7競技(アーチェリー、卓球、水泳、陸上、フライングディスク、ボウリング、バスケットボール)

【参加者数】1,585人(選手1,059人、役員526人)

【開会式】 今年度の参加者数は、昨年度よりやや少ない中、円山競技場で行われた総合開会式では、主催者である札幌市の吉岡亨副市長から激励の挨拶の後、佐々木登耶選手と山口乃愛選手の選手宣誓があり、競技が開始されました。



## 第 17 回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会

### 知的サッカーチーム全国大会出場へ

知的サッカーチームが、雨天強風の中決勝戦で秋田県を制し、17 年連続で全国大会出場に駒を進めました。昨年度から全国大会では決勝戦において東京都チームに惜敗していますが、今年度は選手が入れ替わり、雪辱を果たすことが期待されます。



### 車椅子バスケットボール・知的ソフトボール札幌で開催

#### ◇車椅子バスケットボール◇

札幌ノースウインドを中心とする札幌市チームは、今回優勝したクラブチーム日本一の宮城 MAX を中心とする仙台市チームに準決勝で敗退しました。

#### ◇知的ソフトボール◇

東北勢を迎えて、札幌で初めて開催したソフトボール競技予選会では、札幌市チームが青森県に 17 対 0 で敗退しました。



#### ◇その他の競技の結果◇

	競技	日程	会場	結果
精神	バレーボール	5 月 27 日	新青森県総合運動公園 マエダアリーナ	1 回戦で、1 対 2 で宮城県に敗退
知的	バスケットボール	6 月 24・25 日	カメイアリーナ仙台	男女とも秋田県に敗れ、準優勝
聴覚	バレーボール	6 月 25 日	秋田県立体育館	優勝したが、青森県に出場権委譲

## 第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛顔つなぐえひめ大会)出場者決定

【派遣期間】10 月 26 日(木)～31 日(火) 【選手団】72 名(選手 45 名、役員 27 名)

#### 【個人競技 29 名】

陸 上	身 体	江良元晴	原 雄哉	木村重樹	河原郁世	佐藤成恵	的場典子	
	知 的	小田島正樹	堺本裕哉	岸川広輝	伊藤力哉	宮崎 哲	佐藤明日美	五野井志保子
水 泳	身 体	竹内大樹	伊藤梨里佳					
	知 的	石田律輝	佐々木登耶					
アーチェリー	身 体	佐々木忠志						
卓 球	身 体	有澤康太	堀口雄市	保坂正勝				
	知 的	竹内彰彦	山田健司					
F D	知 的	前田拓人	阿部淳也	元木沢正彦				
B W	知 的	吉田怜央	平野井涉	三好宏樹				

#### 【団体競技 16 名(知的サッカー)】

依田航	阿部智哉	國吉拓夢	中村 学	彦根一成	高橋正英	清水 誠	菅原隆人
斎藤誠	長 璞久	西川良祐	澤田偲努	若野翔太	立田智也	岡本昂平	田中恵一郎

## 定時総会

- 【日時】 5月17日午後3時～  
 【場所】 札幌市身体障害者福祉センター3階大会議室  
 【議案】 ①平成28年度事業報告、②平成28年度収支決算、③公益目的支出計画実施報告書、④札幌市への要望、⑤役員改選  
 【審議】 提出議案について、満場一致で原案通り承認、決議されました。



### ◇新役員名簿(平成29年5月17日～平成31年5月)◇

- 【顧問】島中貞夫【副会長】藤井美雪【理事】芝木厚子【理事】中村耕司【監事】松永雅晴  
 【顧問】霜觸 寛【常務理事】豊島邦幸【理事】柳原正明【理事】帽下 博【監事】中平正幸  
 【顧問】安田泰次【理事】瀧谷雄幸【理事】二木一重【理事】高田研司  
 【顧問】千葉英守【理事】安藤節子【理事】伊藤獻一【理事】瀬川 誠  
 【会長】浅香博文【理事】近藤久江【理事】品田吉博【理事】森 芳郎  
 【副会長】小林俊勝【理事】扇谷明美【理事】高坂 猛【理事】山本真司  
 \*顧問4名、理事20名(中、会長1名、副会長2名、常務理事1名)、監事2名

## 第17回身体障害者ボウリング大会

- 【日時】 7月9日(日)  
 【場所】 サッポロオリンピアボウル  
 【概要】 9月3日に仙台市で開催される政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会の予選会を兼ね、27名が参加し熱戦を繰り広げました。



## 障がい者スポーツ専用の学校開放始まる

**障がい者スポーツ専用の学校開放利用団体を募集**  
 札幌市では、障がい者スポーツの普及促進を図るため、平成29年9月1日(金)から市立札幌みなみの杜高等支援学校(南区真駒内上町4丁目)で、札幌市初の障がい者スポーツ専用の学校開放を開始します。利用料金は無料です。

利用には団体登録が必要となりますので、詳しくは札幌市公式ホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/sports/syogai/kyatudou/school.html>)をご覧ください。

詳細：札幌市スポーツ局スポーツ部企画事業課  
 電話 211-3044 / FAX 211-3046



## 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会開催

- 【日時】 平成29年11月25日(土)26日(日)、12月2日(土)  
 【場所】 札幌市身体障害者福祉センター3階大会議室  
 【定員】 概ね30名  
 【カリキュラム】 講義及び実技で18時間  
 【詳細】 「平成29年度初級障害者スポーツ指導員養成講習会開催要綱」(10月上旬当協会HPに掲載予定)



## 賛助会員ご加入ありがとうございました

## ◇個人 平成 29 年 3 月 1 日～3 月 31 日(受付順)

(敬称略)

山本ミサ子 高坂猛 藤田治 佐藤雅之 小野茂 沼澤一夫 佐藤勤

## ◇法人・団体 平成 29 年 3 月 1 日～3 月 31 日(受付順)

(敬称略)

(株) JTB 北海道札幌法人事業部	社会福祉法人札幌市社会福祉協議会	大塚ウエルネスベンディング(株)
社会医療法人鳩仁会札幌中央病院	(株) ロックウェル	(株) ワールド
(株) ムトウ	医療法人知仁会八木整形外科病院	札幌デフバドミントンクラブ
ニチエイエンジニアリング(株)	(株) 中央給食センター	SAWA ウィンタースポーツアカデミー

## 平成 28 年度(4 月 1 日～3 月 31 日)

個人会員	201 件	490,000 円
法人・団体会員	99 件	635,000 円
合計	300 件	1,125,000 円

## 賛助会員の募集

平成 28 年度の賛助金の使途につきましては、スポーツクラブなどへの助成や機関誌の発行等に活用させていただきました。皆様のご協力をお願いいたします。

## ◇個人 平成 29 年 4 月 1 日～6 月 30 日(受付順)

(敬称略)

伊藤智恵子	野村 萌	盛岡 伸	柴野ヨネ	山岸保輝	坂野政也	吉田 穂	荒木 豊
棟智恵子	前田由紀恵	前田有佳子	大郷裕之	滝田広子	大長記興	仁部一夫	五十嵐衿子
野島 聰	伊藤亜紀	加藤八重子	神野奈美	出口信真	水戸 明	山崎佳奈子	加藤由美子
山口陽子	斎藤 南	赤沼雅子	松田 敦	後藤宗夫	高田康夫	高橋道孝	山口芳明
勝山千栄子	飯田道子	小黒トシ子	眞鍋のり子	古谷京子	渡邊正良	織田明晴	高橋幸夫
高橋千鶴子	扇谷明美	中平正幸	橋本順子	福島太郎	沖村圭子	多田幸子	満田つむる
山本文子	石塚義成	原 雄哉	井上敬常	瀧谷 直	田島元樹	石川英仁	渡辺淑子
折館徳勝	石井 健	田口 牧	渡部 堅	石山博史	中宮 稔	湯浅真樹	渡邊 啓
今野健一	高川恵一	藤井和雄	馬場順子	松田信幸	松田智子	志藤昭子	浅香博文
武田晴至	河原麻子	高橋あけみ	後藤澄子	清野忠雄	相良幸男	清水安次	川岸裕子
斎藤美音子	後藤久雄	鹿熊世紀子	久保田亮一	佐々木達次	鈴木輝子	保坂正勝	保坂美根子

## ◇法人・団体 平成 29 年 4 月 1 日～6 月 30 日(受付順)

(敬称略)

(株) ノアコンシェル	(株) テイネステーションホテル	水泳クラブ ラブリー
医療法人社団元氣会札幌整形外科	プロアカーリングクラブ	札幌バドミントン協会
公益社団法人北海道理学療法士会	一般社団法人札幌市医師会	肢体ゲートボールクラブ
一般社団法人札幌歯科医師会	札幌ろうあ者パークゴルフクラブ	中失協ゲートボールクラブ
医療法人社団いとう整形外科病院	あいおいニッセイ同和損害保険(株)札幌支店	聴覚男子バレーボールクラブ
サウンドテーブルテニスクラブ	日通商事(株)札幌支店	(株) さんけい

## ススポの伝言板

## ◇新入職員からのご挨拶◇



この度、6 月 22 日付で札幌市障がい者スポーツ協会に採用されました安田洋子と申します。

一日も早く業務に慣れ、皆様のお役に立てますよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

## ◇ス ポ ー ツ の 季 節 ◇

夏の甲子園出場をかけ、南北海道大会が 17 日から札幌円山球場で始まりました。遠い記憶をたどると、道大会に優勝し甲子園への期待の高まった母校でしたが、エースが前日にノックの打球を利き腕に受け、旭川スタルヒン球場で開催された地区予選では、全校応援も叶わず敗北を喫しました。

スポーツの世界では、出場選手が全力を尽くして勝敗を競い、そこでは敗者が多数派です。かつて、徳島・池田高校を率いた名将薦監督は、「人生は敗者復活戦」という言葉を残しました。

すずらんピックをスタートとして、今年度のスポーツシーズンもたけなわです。障がい者スポーツに親しむ皆さん、「good loser(よき敗者)」を目指して、ともに歩んで行きましょう。